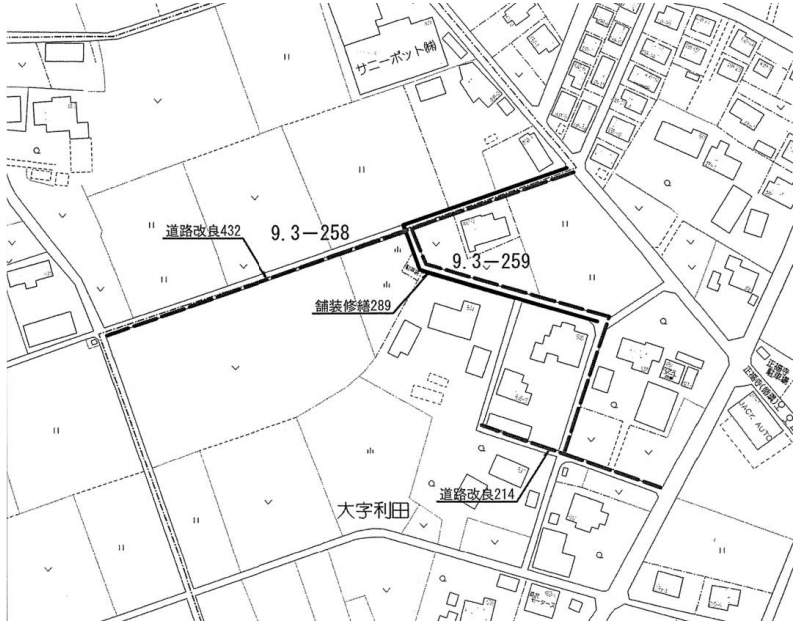


令和5年度 埼玉地区 市政懇談会 要望等回答一覧

No.	意見・要望等	所管課	回 答
1	<p>車が乗れない人、または車の免許を返納した人がデマンドタクシーが思うように利用できず困っている。乗り合いバスなど、もっと利用できるものを考えていただきたい。買い物するにもコンビニしかない地区である。</p>	<p>交通対策課</p>	<p>デマンドタクシーは、市内で計14台体制で運行しており、通院や買い物等の利用が集中する時間帯には、予約の電話が集中し、電話がつながりにくくなる場合もあると承知しております。こうした利用の多い時間帯には、利用者の皆様にご不便が生じないように、デマンドタクシーの運行事業者にも協力いただき、一般タクシーをデマンド対応に充てるなどの対応も行っておりますが、昨今社会問題にもなっている運転手不足の影響もあり、直ちにデマンドタクシーや市内循環バスの運行台数の増加、増便等の対応をとることが難しい状況にあります。</p> <p>ご利用される市民の皆様にはご不便をおかけしますが、予約の電話がつながりにくい場合には、大変恐縮ですが、時間を少しおいてから掛けなおしていただくなど、ご協力をお願いいたします。</p> <p>また、現在行田市の地域公共交通全体のマスタープランとなる「行田市地域公共交通計画」の策定中であり、本市の地域公共交通全体の見直しの検討を進めていく予定としております。市民の皆様にとって、より良い地域公共交通となるような再編に努めてまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
2-1	<p>整備要望書図面の舗装修繕工事No.289と道路改良工事No.432の道路（渡柳・利田地区界）は同一路線となっている。現状では舗装はされているものの、防塵舗装のようなため、路盤がむき出し、あちこちが陥没状態である。この道路を利用し出入りしている民家もあり、降雨時などは大変危険で事故に繋がると考える。</p> <p>整備のランク付けはしてあるようだが、現地を調査していただき、早期の整備をお願いします。</p>	道路治水課	<p>当該路線（市道第9. 3-258号線）は、舗装修繕工事No.289と道路改良工事No.432が一部の区間で重複しております。</p> <p>また、舗装修繕工事No.289の一部（市道第9. 3-259号線）は、道路改良工事No.214の一部とも重複している状況でございます。</p> <p>生活道路等の整備に関しましては、事業評価制度に基づき優先度の高い路線から順次、整備に着手しているところでございますが、ご要望の路線（市道第9. 3-258号線）は、道路改良工事よりも舗装修繕工事の方が優先度の高い状況となっております。</p> <p>事業に着手する際は、地域住民の方々と整備内容について調整してまいりたいと考えておりますが、それまでの間における舗装の穴埋め等の簡易な補修につきましては、道路パトロールや皆様からの通報等により実施してまいりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p> 

No.	意見・要望等	所管課	回 答
2-2	当該道路は利田と渡柳間の連絡道路で使用しており、以前から何度も穴埋め補修で対応している。早く舗装工事をしてほしい。	道路治水課 (危機管理監)	当該道路は、東西に長い路線で、ひと昔前の防塵塗装がそのまま残っており、何度も穴埋めの修繕をしているところです。しかしながら、このような箇所が市内に多数あり、ご要望も多数いただいております。順次整備を進めているところでございます。現在のところは、予算化の見通しは立っておりませんが、一刻も早く予算化できるようにしていきたいと思っております。
2-3	要望提出後、市が評価をしていると思うが、評価結果がまだ来ていない。自治会に返していただいているか。	道路治水課 (危機管理監)	評価は毎年1回に行っておりまして、評価の結果は自治会長様にお伝えしております。
3	行田市内小中学校全体の学力アップができる環境整備を希望する。	教育指導課	<p>現在、学力向上に関する支援や環境整備について、以下のように実施をしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上支援教員の配置による、個に応じた指導の充実</li> <li>・読解力向上のための新聞社作成ワークシートの活用</li> <li>・図書活動推進教員の配置による、読書環境の整備</li> <li>・小学校における非認知能力（自己効力感・向社会性）育成のための実証研究</li> <li>・授業支援ソフトや一人一台端末を用いた、ICT活用による授業改善</li> <li>・家庭学習充実のためのeライブラリや、行田版家庭学習のすすめの活用</li> <li>・英語能力向上のための英語検定取得支援事業</li> </ul> <p>今後については、現在の取組をより一層充実させるとともに、効果的な取組について検討してまいります</p>

No.	意見・要望等	所管課	回 答
4-1	<p>災害時の要援護者に対する支援を、避難場所も含めてどのように考えているか。</p>	<p>危機管理課</p>	<p>高齢者や障害を持つ方々など要援護者に対する支援につきましては、地域やボランティアの皆様と協力しながら、災害時の災害弱者を支える仕組みづくりが重要と考えております。</p> <p>現在、市では避難体制の確保を図るため、社会福祉協議会や自治会長様をはじめ地域の皆様による「支え合いマップ」の作成や民生委員に対する防災講座に職員を派遣し、地域の要援護者支援につながる取組を推進しているところです。</p> <p>また、指定避難所におきましては、プライバシー配慮のためにパーテーションを導入しているほか、より安心して避難生活を送れるよう市内の福祉施設と協定を締結し、福祉避難所として整備を行っております。</p> <p>今後におきましても、要援護者の皆様が安全・安心に避難いただけるよう様々な支援に取り組んでまいります。</p>
4-2	<p>「支え合いマップ」は確かに必要だが、もっと大切なものがある。日頃の隣近所のあいさつがないと安心してお願いすることができない。いきなりボランティアに来られても、なかなか心を許せるものでもない。会ってもあいさつしない大人も大勢いる。あいさつを広げてもらいたい。</p>	<p>危機管理課 (危機管理監)</p>	<p>市と社会福祉協議会と自治会を中心に、「支え合いマップ」を作成し話し合いを行っていますが、御意見のとおり、日頃のおつきあいがあって初めて機能すると思います。まずは顔を合わせて、顔を知って、あいさつをし声かけすることが大切だと思います。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回 答
5-1	<p>【渡柳のメイン道路について】</p> <p>う回路として交通量が多い道路である。渡柳の信号から斎場に向かっていくと急に道が広がっている。そこから100メートル程いくと、一車線になってしまい、交互通行している。20年来の懸案事項で、土地の所有者が民間から埼玉県に移行したが何の進展もない。また、斎場南側のT字路が、片側は一時停止だが、もう片側が一時停止ではない。道路の構造がおかしいのではないか。</p>	<p>道路治水課  (危機管理監)</p>	<p>当該道路は生活幹線道路というべき道路で、交通量が大変多いと認識しております。この道路はこれまでもU字溝の改修など、部分的な改修を行っており、ある程度整備が進んでいますが、斎場から少し南に進むと極端に道幅が狭くなり、その区間は車一台がやっと通れる状態です。20年来の懸案となっておりますが、要因のひとつに埼玉古墳公園の拡張計画があります。このエリアは埼玉県が古墳拡張を進めている場所であり、道幅が狭い部分に公園の拡張計画がございます。整備にあたりましては、埼玉県との協議が必要となりますが、今後の埼玉古墳公園の整備状況も見据えながら、道路整備も考えていく必要があると思います。いずれにしましても、皆様に大変ご不便をおかけしている状況でございますので、現場をしっかりと確認いたしまして、県と調整をしまいたいと存じます。</p> <p>また、斎場の南の角のT字路ですが、渡柳方面から斎場方面に進んだ時に、一本の道なのですが、交差点を挟んで位置がずれており狭くなっているため、南から来ると東側が大きくせり出しているように見えて、減速しないと危ないと思われる場所です。要因は元荒川土地改良区が管理している水路が交差点の下を横断しており、その土留めの場所が東から西に張り出していることにあり、これを解消するには交差点改良工事が必要となります。また、埼玉県との協議が必要となりますので、改善策につきまして、県と協議してまいります。</p>
	<p>この道路は高齢者も通る重要な道路であるため、市にバックアップをしてもらいたい。以前廃道になる案が県から示されたことがあるが、廃道にならないよう尽力してもらいたい。</p>	<p>(副市長)</p>	<p>埼玉県と協議していきたいと思っております。地元の皆様のご意見を尊重して取り組んでまいることが基本的なスタンスでございます。廃道については撤回となっておりますので、しっかりと対応してまいりたいと存じます。</p>
5-2	<p>20年位同じ状態であることは住んでいる人間にとって論外である。1日でも早くよくなってほしい。安全に楽に使いたい。</p>	<p>道路治水課  (危機管理監)</p>	<p>事業化には財源の確保が必要ですが、市内の生活道路や水路等につきまして、現在、1064件のご要望をいただいている状況です。そのような中で、事業評価による優先順位をつけて、順次行っているところでございます。現場の状況は重々承知しております。また、地元の皆様のご一刻も早くというお話もよくわかりますので、その気持ちをもって取り組んでまいりたいと思います。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回 答
6-1	<p>【重点施策について】</p> <p>小中一貫校あるいは義務教育学校を考えていると思うが、教員数は国の定数だけでは足りない。定数外の職員数について、市は考えているのか。</p>	<p>教育指導課</p> <p>(市長)</p>	<p>まずは、小中学校をどのように再編していくのかの案を作らせていただき、皆様にお示ししていくという段階にあります。教員の確保については、具体的にはこれからとなります。以前に市の予算で教員を確保し「浮き城先生」という名前で子供たちに指導していただいた時期もありましたが、今後そういったことをする必要のあるのか、する場合にはどのくらいの予算が必要なのか、考えていかなければならないと思います。そして、小中一貫校、義務教育学校の設置に当たり大きな課題となっているのが、先生の教員免許の問題です。小・中両方の免許がないと指導できないので、どのようにクリアするのか考えなければなりません。</p>
6-2	<p>雇用創出について、工業団地に大手企業を誘致するには交通アクセスが非常に大切だが、行田市は路線バスは街中に一本しか通っておらず、市内循環バスしかない。関越道と東北道の間をつなぐ道はできないのか。国道17号と125号を関越道と東北道まで延伸し交通の便を良くしながら企業誘致をしていくために他市町村との話し合いはあるのか。</p>	<p>交通対策課 都市計画課</p> <p>(市長)</p>	<p>市内循環バスはなかなか使いにくいと思っており、それにかわる新しい次世代の、例えばAIデマンドなど新しい先進的な技術を尽くした地域公共交通を作っていく時期に差し掛かっていると思います。</p> <p>また、道路につきましては、今のところ、国道125号以外の東西を結ぶ道路の計画はありませんが、17号バイパスを高速道路化するとなれば、当然のことながら拠点拠点を結ぶ道路も考えていかなければなりません。まずは南北、そしてそれを結ぶ東西の道路のアクセスを考えていかなければならないと思っております。</p>
7	<p>【ごみ処理について】</p> <p>熊谷市、越谷市は燃えるごみと燃えないごみを一緒に捨てている。市民にとってはその方が楽である。行田市の事業計画にないのか。</p> <p>事業計画としては、何年頃を考えているのか。</p>	<p>環境課</p> <p>(副市長)</p>	<p>本市は羽生市とともに新しいごみ処理施設の建設を進めていますが、現時点で考えている焼却炉につきましては、燃えるごみと燃えないごみを一緒に焼却する施設を考えています。確定次第、皆様にお知らせいたします。</p> <p>時期につきましては、基本的には令和9～10年度くらいを目途に、新施設を稼働できればと思っております。なるべく早く新しい施設を稼働できるように鋭意努力しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>



No.	意見・要望等	所管課	回 答
8	<p>【小中学校全体の学力アップについて】 英語能力向上のための英語検定支援事業とは具体的にどのようなことをやっているのか。</p>	<p>教育総務課  (副市長)</p>	<p>英語検定の受験料の補助をしております。</p>
	<p>補助金額はいくらか。補助対象は英語検定のみか。</p>	<p>(総合政策部長)</p>	<p>対象は英語検定のみとなっており、補助額は4級は1,000円、3級以上は2,000円となっております。</p>
9	<p>【休耕田について】 高齢化で農家を続けられず休耕田となった農地をどうするのか地区内で問題となっている。大規模農家をお願いしても、どこも手一杯である。1軒だけ休耕地になってしまい周りの田んぼは耕作している状況では、その土地にソーラーは設置できない。市ではソーラーシステムなど自然エネルギーを導入する予定はあるのか。</p>	<p>農業委員会  (副市長)</p>	<p>行田市は広い穀倉地帯を持っておりますが、どこの地域でも発生している問題でございます。ご存知のとおり、農業委員会では、耕作していただく大規模経営の農家を斡旋する取り組み行っております。ご指摘のように、大きな圃場の中で、ひとつの休耕地が雑草が生え放題になってしまい、周囲に悪影響を及ぼすということがあると思いますが、市として直接、民地にソーラーパネルを設置するような事業は現在のところやっておりません。 農地の保全も非常に大切なこととございまして、お困りのことがあれば農業委員会に相談していただきたいと存じます。</p>